

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)沿線

戦国三武将

ゆかりの地めぐり

ウォーキングマップ

森乱丸

明智光秀

可児才蔵



明智光秀

1528? - 1582

可児市で生まれたと伝えられ、大河ドラマの主人公に抜擢されたことでも注目を集めている戦国武将です。明智光秀は、代々可児郡の明智荘に住んだ土岐氏の一族（土岐明智氏）が出自とされています（『美濃国諸旧記』）。弘治2年（1556）、美濃国の支配者であった斎藤道三が息子の義龍に討ち取られると、道三方であった明智氏も義龍によって攻められて滅ぼし、光秀は可児を出たとされています。

唯伏の時を経て、織田信長の臣となってからは、近江や丹波攻略など各地で武功を挙げ、信長からの信頼も厚かったといわれています。天正10年（1582）6月に、本能寺の変において主君である信長を討つことから「謀反人」「逆臣」といった印象の強い人物でしたが、近年はそのイメージの見直しが進んでいます。優れた政治能力、軍事的力によって織田信長に重用され、また臣下を思いやる優しさや文化的な教養を兼ね備えた人物であったことが再評価されています。

可児才蔵

1547? - 1613?

可児才蔵は、御嵩町出身と伝えられている武将です。才蔵は主君に恵まれず、後に福島正則に召し抱えられるまでの間に、明智光秀、前田利家、羽柴秀次など、次々に仕官先を変えていたと伝えられています。彼らの下で戦場を渡り歩いていた才蔵の活躍と勇武は、当時の人々の間にも伝わっていましたよう、多くの逸話が全国各地に伝わっています。

天下分け目の関ヶ原の戦いでは、才蔵は笠の枝を背中に立てて戦い、敵の首を取ると耳や鼻の穴に笠の葉を入れ、自分の手柄であることを証拠としていました。そして、この戦いで17人の首を取った才蔵の強さに感嘆した徳川家康が、「笠の才蔵」の通り名を与えたとされています。

時期は不明ですが、才蔵は明智光秀に仕えており、本能寺の変では、光秀に従って本能寺を攻めたともいわれています。その他に、本能寺で敵将の首を取り損ねた者に対し、手本を見せて取り方を教えたと記されている文献もあります。

しかし、才蔵の全容を明らかにできる史料はまだ見つかっていないため、その生涯は謎に包まれています。

森乱丸

1565? - 1582

森乱丸は、永禄8年（1565）年に美濃金山城で生まれたと伝わっています。父は織田信長の重臣である森可成、母は林通安の娘（妙向尼）で、兄弟には猛将として知られる長可、後に森家を継いだ忠政、坊丸、力丸などが居ました。

幼くして信長に仕え、本能寺の変の直前まで小姓として、秘書的な役割を果たしていたことが知られています。年少の頃から利発で機転が利いたという逸話が多く残されており、信長もそんな乱丸を可愛がっていたようです。

天正10年（1582）4月に武田氏が滅亡すると、美濃金山城主であった兄の森長可が信濃国海津城（現長野県）に知行替えとなりました。その際に、信長より美濃金山城と付近の領地を与えられ、美濃金山城主となりました。しかし、この2ヶ月後に本能寺の変が起こり乱丸も討死したため、乱丸が実際に入城して政治に関わることはなかったといわれています。可成寺（兼山）には歴代城主の可成、長可らとともに乱丸の墓所があります。



明智光秀コース

明智駅 - 花フェスタ記念公園 - 須戸駅

明智城跡



明智光秀が生まれ、落城するまでの約30年間を過ごしたことされています。承永元年（1342）、美濃の守護、土岐頼満の次男である頼兼が城を築き、弘治2年（1556）、明智光秀の叔父にあたる光安が城主であった時、稻葉山城主。

高藤義龍の攻撃を受けました。この時、光秀は光安より明智家再興を託され逃げることに成功しましたが、光安は自刃し明智城は陥落しました。

明智城 本丸跡石碑

天龍寺



境内には明智氏歴代の墓所があり、本堂には日本一大きい光秀の位牌（184cm）が納められています。毎年6月には「光秀供養祭」が行われています。

花フェスタ記念公園



約7千品種3万株のバラが植えられた世界最大級のバラ園。春と秋のバラの季節には多くの人々でぎわいます。ネモフィラ（3～4月）、ひまわり（7～8月）、コスモス（9月）など、一年を通して様々な花を楽しむことができる公園です。

9:00-17:00

休 火曜日、年末年始（1月1日～1月3日）

料 大人530円（1月1日～1月3日1,050円）高校生以下無料
※イベントやメンテナンスで営業時間の変更や臨時休園もあるため、HPをご覧ください。

【明智光秀博覧会 2020 在可児市】開催！ 入場無料

「戦旗がくる ゾ可児 大河ドラマ館」とともに光秀に関する様々な展示、イベント、グッズやお土産があります。
開催期間：2020年1月11日～2021年1月11日（期間中無休）

大河ドラマ館 案内時間：9:00-17:00（最終入館16:30）
入 館 料／大人500円・小人（小中高生）200円

道の駅 可児バッテ

可児市周辺の新鮮な野菜や特産品の販売と、それを活用した飲食コーナーがあります。幅広い店舗ではイベントや催し物などを開催し、人や物や文化の交流をなしています。

9:00-18:00 休 1月1日-2日

企画・製作 / 名鉄広見線活性化協議会 お問合せ先 / 名鉄広見線活性化協議会事務局
このウォーキングマップは、令和元年度に岐阜県清流の里さか推進補助金を活用して制作しています。



森乱丸コース

明智駅 - 兼山エリア

美濃金山城跡



天文6年（1537）、菅原大納言（妙春）によって築城された牛嶋城は、永禄8年（1565）に織田信長の家臣森可成が城主となった際に金山城と名を変えました。のちに信長に仕えた乱丸が城主になりましたが、その後2ヶ月後に本能寺の変が起き、信長と命を共にしました。関ヶ原の戦い後の慶長6年（1601）ごろに城は壊されましたといわれています。その後も城跡が今も残っています。平成25年に「美濃金山城跡」として国史跡に指定されました。

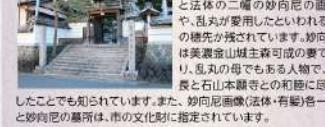


可成寺



妙向尼が、宇佐山城の戦い（1570）で戦死した夫・森可成の菩提を守るために本堂を建立した。のちに、奈良御守御僧が講じて創建した森家の菩提寺です。乱丸ははじめ長可・坊丸・力丸の墓があります。また、森武藏守長司が遺した腰当（腰帶定文化財）が残っています。その他に、森武藏守長司・森三左衛門尉可成の墓、森武藏守長司の墓、森乱丸・坊丸・力丸の墓が市内の文化財に指定されています。

常照寺



森家の家老であった林長兵衛が忠によって建立されました。有形と法体の二層の妙向尼の画像や、乱丸が使用したといわれる襷が残されています。妙向尼は美濃金山城主森可成の妻であり、乱丸の母でもある人物で、信長と石山本願寺との和戦に尽力したことでも知られています。また、妙向尼画像（法体・有形）各一幅と妙向尼の墓所は、市の文化財に指定されています。

可児市戦国山城ミュージアム

戦国時代に築かれた国史跡美濃金山城跡をはじめ、可児市内に残る香山城跡の特徴や歴史を紹介しています。また、神社や山腹など多くの文化財がある山城の山麓下町の魅力を紹介しています。乱丸が使ったと伝わる甲冑や森可成の遺物等の複数が展示されています。

9:00-16:30（入館は16:00まで）

休 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、および年末年始
料 大人210円 その他各種割引あり

可児市観光交流館

山城めぐりの憩点施設及び観光案内所です。館内には、戦国時代の本陣をイメージした内装で、隣接する甲冑、槍なども展示しています。展示の半壁はすべて草木で囲まれています。また、全国各地の約250もの城跡（パノフレット）が閲覧できます。

9:30-22:00（平日着付休憩時間は17:00まで）

休 年末年始（12月28日-1月4日）

蘭丸ふるいの森

古城山に広がる自然豊かな公園で、桜や紫陽花、紅葉など、四季をお楽しみいただけます。

企画・製作 / 可児市役所 [企画課] TEL.0574-67-2111 kasseika@town.mitake.lg.jp



可児才蔵コース

御嵩駅周辺

大寺山願興寺



弘仁6年（815）、伝教大師によって創建されたといわれる天台宗の古刹です。二度にわたる兵火により本尊は焼失しましたが、幸いにも本尊・聖観音如来像をはじめ諸仏像は焼失をまぬされました。本堂も地盤の力によって再興され、二度目の焼失後も近在の農民の労働により、素朴な造りではあるものの、板一枚、柱一本を持ち寄って見事再建されました。このあたりでは通称「聖観音」と呼ばれ、広く親しまれています。現在、某御守如來像ほか24軒及び本堂が県指定の重要な文化財にまた、鐘楼門が県指定文化財になっています。願興寺に伝わる「大寺記」には、「越前で朝霧雲景が滅ぼされた時に逃げ出した舟屋の御堂が、放浪の末に願興寺に應れ住むことになり、その後生まれた男の子が可児才蔵と名乗るようになった」旨が記されています。願興寺は可児才蔵の地として知られています。

靈宝殿御殿料：500円（事前予約制）

本堂は2017年から約10年かけて修復工事のため、本堂周辺は立入りできませんが、靈宝殿は拝観できます。

大智山愚溪寺



臨済宗の古刹であり、京都妙心寺派の名僧で、のちの京都の龍安寺で勢いよく上り上げた「義天玄崇」によって開創されました。義天はこの愚溪寺で既に石庭の構想を持ち、「臥龍石庭」として表現をしていました。御富士は青雲とされた大方丈は、心清める美しさを有しています。

中山道みたけ館

日本最古の象が開拓した1800万年前から、古代の奥山道、平安・鎌倉・室町の伝説、中山道と宿場の歴史、祭典・信仰・キリスト教との熱い心に触れるなど、御町の歴史と文化を感じてみてください。

平日10:00-18:00 土日祝9:00-17:00

休 月曜日（祝日の場合は開館）

料 大人210円 その他各種割引あり

中山道みたけ館

日本最古の象が開拓した1800万年前から、古代の奥山道、平安・鎌倉・室町の伝説、中山道と宿場の歴史、祭典・信仰・キリスト教との熱い心に触れるなど、御町の歴史と文化を感じてみてください。

9:00-17:00

休 月曜日（祝日の場合は開館）

商家竹屋

企画・製作 / 中山道みたけ館に
ある

御宿宿わいわい館

9:00-17:00

休 おひなし営業は10:00-15:00

料 水屋、年末年始

御宿宿本陣

御宿宿本陣

明智光秀ゆかりの地 明智莊

あけちのしょう

明智光秀ゆかりの地

明智光秀の出自については諸説がありますが、通説では土岐氏の流れをくむ「土岐明智氏」の一族であるといわれています。

土岐明智氏発祥の地とされる可児郡の明智荘は、現在の可児市北東部から御嵩町西部にかけて存在した荘園です。

明智光秀の生まれた時代に土岐明智氏が明智荘一円に勢力を誇っていたという確実な史料は見つかっていませんが、『美濃国諸旧記』では初代の土岐頼兼より光秀に至るまで、代々可児郡の明智荘に土岐明智氏が住んだとしています。



顔戸城址

顔戸城は、室町時代初期、土岐氏の守護代源氏の模範になるとされ、城といつても居館と考えられています。城は東西約180m、南北約150mの規模で全体が台形状を呈しており、外堀は敵の侵入を防ぐ深い邊と高い土塁がめぐらされています。平地部の城壁としては、規模も格段に大きく、土壁や堀は良好に残っています。大変貴重な平城であり、明智莊一もいわれています。領主とされる源義継は、土岐氏の守護代であった元の斎藤利永が亡くなる前後から政界へと乗り出し、応仁の乱(1467)では、妙満の向舟は中央(京都)をもゆるがすと言われるほど存在があったと伝えられています。



明智光秀コース

明智駅 - 花フェスタ記念公園 - 顔戸駅

所要時間
約1時間30分
滞在時間は含みません

The course starts at AKECHI Station, follows the Kakegawa River, passes through the Flower Festival Memorial Park, and ends at GOUUDO Station.

コース	距離	所要時間
1 明智城跡大手門	1.6km (1.3km)	10分
2 明智城跡本丸跡	1.0km (0.5km)	10分
3 天龍寺	0.3km (0.2km)	3分
4 鹿鳴がくるぎふ可児 大河ドラマ館	1.4km (1.1km)	25分
5 花フェスタ記念公園	2.0km	25分
6 道の駅 可児ツッテ	0.9km	11分

ウォーキング
コース全長 ▶ 6.5km

コース	距離	所要時間
1 明智城跡大手門	1.6km (1.3km)	10分
2 明智城跡本丸跡	1.0km (0.5km)	10分
3 天龍寺	0.3km (0.2km)	3分
4 鹿鳴がくるぎふ可児 大河ドラマ館	1.4km (1.1km)	25分
5 花フェスタ記念公園	2.0km	25分
6 道の駅 可児ツッテ	0.9km	11分

森乱丸コース

明智駅 - 兼山エリア

所要時間
約1時間40分
滞在時間は含みません

The course starts at AKECHI Station, goes to the Kakegawa Tourism Center, then follows the Kakegawa River through the Yamashita area, passing by the Yamashita Museum of History and the Yamashita Castle Site, before returning to AKECHI Station.

コース	距離	所要時間
1 可児市観光交流館	0.1km	2分
2 可児市観光交流館	1.5km	24分
3 蘭丸ふる里の森	0.9km	17分
4 美濃金山城跡	1.1km	22分
5 常照寺	0.2km	3分
6 可成寺	0.1km	1分

ウォーキング
コース全長 ▶ 3.9km

コース	距離	所要時間
1 可児市観光交流館	0.1km	2分
2 可児市観光交流館	1.5km	24分
3 蘭丸ふる里の森	0.9km	17分
4 美濃金山城跡	1.1km	22分
5 常照寺	0.2km	3分
6 可成寺	0.1km	1分

可児才蔵コース

御嵩駅周辺エリア

所要時間
約1時間10分
滞在時間は含みません

The course starts at HITAKE Station, goes to the Oike-juku area, then follows the中山道 (Chubu-dō) through the Tajizou area, passing by the Tajizou-juku area, before returning to HITAKE Station.

コース	距離	所要時間
1 恵溪寺	0.8km	11分
2 大寺山願興寺	0.8km	11分
3 御嶽宿わいわい館	0.2km	2分
4 中山道みたけ館	1.7km	25分
5 御嶽宿本陣跡	0.1km	1分
6 商家竹屋	1.5km	17分
7 御嵩城址公園	1.5km	17分

ウォーキング
コース全長 ▶ 5.3km

コース	距離	所要時間
1 恵溪寺	0.8km	11分
2 大寺山願興寺	0.8km	11分
3 御嶽宿わいわい館	0.2km	2分
4 中山道みたけ館	1.7km	25分
5 御嶽宿本陣跡	0.1km	1分
6 商家竹屋	1.5km	17分
7 御嵩城址公園	1.5km	17分